

(別紙様式)

【事業区分：自主企画研修等】

# 平泉農産企画女子プロジェクト

## ○グループの紹介

平泉町内に拠点を置き、町内の女性を中心に構成されたグループです。町内で生産される野菜をメインとした商品開発、販売等を行いながら、農業+女子力で魅力ある平泉町を発信し、地域を明るくするための活動を行っています。



○人数 6名（女性6名）

○経営区分 農業5名、団体職員1名

## ○事業目的

平泉町内の農産物を活用した6次産業化商品の開発を行い、地元農産物を活用した、地域が認める美味しい6次産業化商品の製造販売を通じて、地元農産物の消費拡大を促進するために今回の事業をすすめてきました。さらなる「世界遺産・平泉」の魅力を発信できるような新商品開発を目指しています。

## ○事業実施実績

実施内容（具体的な内容・方法）	時期	場所	備考 (参加人数)
① 新商品に係る調査研究	①	①	①
(1) レトルト製造機の実機研修	(1) 9/9	(1)東京都墨田区	(1)2人
包装材の検討、調査	12/30	平泉町おかずやいっ菜	4人
(2) パッケージ講習及び試作検討	(2) 12/13	(2)平泉町エピカ	4人
②販売促進、活動普及のための研修	②	②	②
グループのロゴマークを活用した販売促進、活動普及手法研修	12/13	平泉町エピカ	4人

## ○活動の成果

### ① 新商品に係る調査研究

#### (1) レトルト製造機の実機研修及び包装材の検討、調査

・ 9月9日

昨年度までの活動からレトルトに適さない包材やレシピがあることがわかった。そこで、商品化した時の理想の包材及び形状の検討を目的に、東京都のパナソニック産機システムにおいて新商品開発実機研修を実施した。研修では、実機により使用方法を学び、研修先担当者から製造機に適した包材の提案をいただき、意見交換、試作を行った。

その後、包材の耐久性の確認や経過観察のため、メンバー内で試食を行い、新商品の最終的な設計を行った。

・ 12月30日

時間経過による包材の破損がないかと味の変化がないかをグループ内で試食検討し、製品化の際の消費期限等の参考にするデータを取得した。

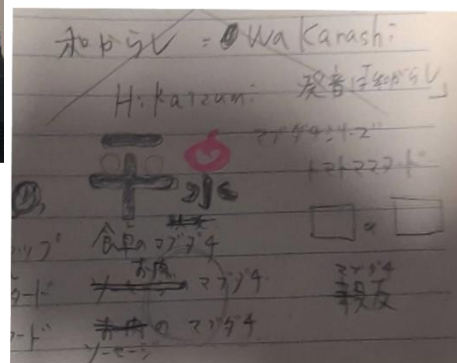
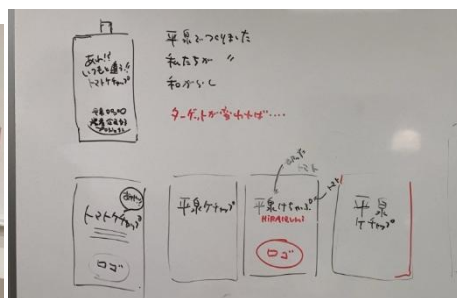
研修を通して、包材については形状が限定される中からも理想的な形態を見つけることができた。また、実機研修の際に、野菜だけでできる商品のサンプルも見せていただき、今後の商品化への参考にしたいと感じた。



## (2) パッケージ講習及び試作検討

- ・12月13日 午後2時から午後4時

販売する包材を確認しながら、商品パッケージを考察する際に必要なことについて、講師を招き研修を行い、その後、自分たちのパッケージについて検討を行った。研修では、講師が手掛けた実際の優良事例やアイデアの出し方を研修し、優良事例(包材や実物など)を参考に、商品として販売を予定している「平泉ケチャップ」、「和からしマスタード」のパッケージについて検討を行い、実際のパッケージの原案を作ることができた。今後は、販売に際して講師と打合せ、製品の完成につなげていく。



## ②販売促進、活動普及のための研修

- ・12月13日 午後4時から午後6時

ロゴマークを活用した販売促進、活動普及手法研修をパッケージ研修と同日開催し、現在使用しているグループのロゴマークの活用方法や販売する際の効果的なポップの作成などについて学んだ。

漠然と販売量ばかりを意識していたが、販売する商品の方向性を改めて考えさせられ、顧客の属性を設定しグループ内で共通し、商品開発に対する認識を高めていくことにもつながる有意義な研修となった。研修で学んだことを通じて販促品(POPやチラシ)の作成などに役立てたいと思った。



## ○次年度に向けて

今回3年間の事業を通じて、つくるだけでなく、流通させることの難しさを改めて感じた。自分たちだけでは得られない情報やつながりを得ることができたので、それらを今後の商品化にかし、販売できる形態を整えていきたい。